

DSC部会報告

2015.3.10

国際標準戦略部会

国際標準戦略部会の取組（本年度まとめ）

●DSCシステム部会発行「システムガイドライン」



「デジタルサイネージのサービス要件とアーキテクチャ」に関する規定として標準化

■国際標準（ITU-T） H.780 （2012年6月）

■国内標準（TTC） JT-H780 （2015年2月）

※H.780の翻訳版としてTTCにて国内標準として規定

<http://www.ttc.or.jp/cgi/document-db/docdb.cgi?cmd=dp&num=2404&dp=>

●DSCユーザーズ部会発行「災害時運用ガイドライン」



「デジタルサイネージの災害情報サービスに関する要求条件」に関する規定として標準化

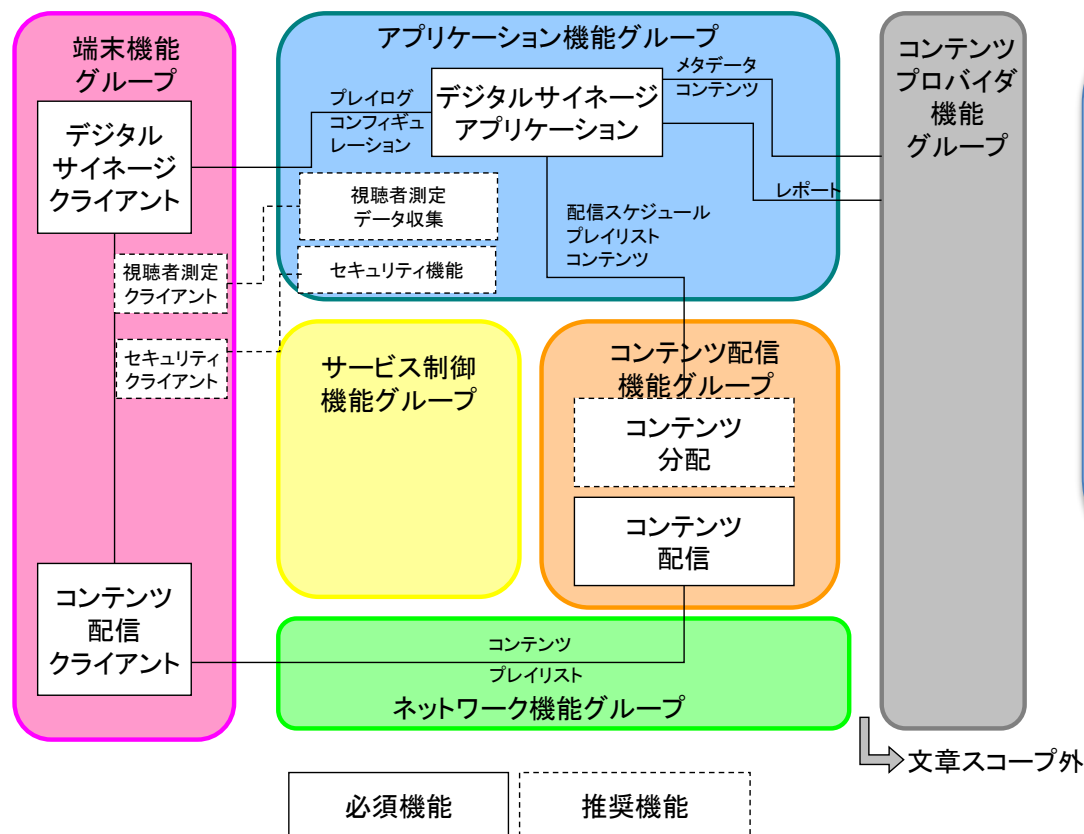
■国際標準（ITU-T） H.785.0 （2014年10月）

デジタルサイネージのサービス要件とアーキテクチャ

- ・ITU-T H.780(2012年6月勧告)
- ・TTC JT-H780 (2015年2月勧告)

<概要>

- ・デジタルサイネージ(DS)のサービス要求条件について規定
- ・コンテンツプロバイダーやサービスプロバイダー、端末部分などサービスごとのドメインを定義。また、ビジネスの適用分野について記載。
- ・IPTVに基づくデジタルサイネージの基本的なアーキテクチャを規定。
- ・コンテンツ管理、コンテンツ配信、セキュリティ、ネットワーク、端末に対する要求条件を含む。
- ・メタデータや端末のインターフェースの標準化に関しても言及。



アーキテクチャは、以下の6つの機能グループから構成

- ・端末機能グループ
 - ・アプリケーション機能グループ
 - ・サービス制御機能グループ
 - ・コンテンツ配信機能グループ
 - ・ネットワーク機能グループ
 - ・コンテンツプロバイダ機能グループ
- それぞれのサービスに必要な機能を必須機能と推奨機能に分類。

デジタルサイネージの災害情報サービスに関する要求条件

・ITU-T H.785.0(2014年10月勧告)

<概要>

- ・デジタルサイネージの災害時利用における基本要件について規定
- ・災害時に必要となる情報種別をエリアや時間推移、情報の変化に応じて分類し、デジタルサイネージでの利用における要件として記載。
- ・災害時に必要となるデジタルサイネージの基本的な要件を規定。
- ・運用上の機能、コンテンツ配信、セキュリティ、ネットワーク、端末に対する要求条件を含む。
- ・災害時の緊急情報のフローに関しても言及。

災害時の時間と場所ごとの関係 (2011年5月 デジタルサイネージコンソーシアム)

	災害前	災害時	復興初期
被災地	災害予報・予測情報	<div>避難場所情報</div> <div>避難誘導・指示</div> <div>災害情報(ローカル)</div> <div>災害情報(全国)</div>	<div>安否情報</div> <div>被災地におけるニーズ未取材(現時点では自重)</div> <div>生活密着情報?</div>
準被災地		<div>帰宅情報</div> <div>運行情報(交通機関)</div> <div>災害情報(全国)</div> <div>災害情報(ローカル)</div>	<div>運行情報(交通機関)</div> <div>計画停電・放射線情報</div> <div>パニック・風評対策</div> <div>準被災地・安全地域の区分が要らないコンテンツ</div> <div>支援のよびかけ</div> <div>公共広告</div> <div>お悔やみ・お見舞い・励まし広告</div> <div>安否情報</div>
安全地域		<div>災害情報(全国)</div>	

災害時のデジタルサイネージ利用に関して、以下の8つの分類について要件を規定

- ・General
- ・Operational management
- ・Application/delivery
- ・Contents
- ・Security
- ・Network
- ・Terminal device/display
- ・Accessibility requirements

それぞれのサービス要件を必須機能と推奨機能にわけて言及。